

# 春の全国交通安全運動



「令和5年 春の全国交通安全運動実施中」  
全国交通安全運動は、交通事故防止の徹底を目的として毎年、春と秋の2回実施されています。今回の重点テーマのひとつに「こどもを始めとする歩行者の安全の確保」があります。

こども（児童・園児）に関する交通事故の特徴として、約6割が歩行中に発生し、その6割以上が横断中となっています。また、全年齢に比べ、児童・園児は横断歩道以外横断中の割合が高く死者・重傷者はこの時期に増加しています。

当社では交通安全運動期間中に限らず、「歩行者を守る運転」を指導していますが、特にこの時期の朝礼では、「新入学児童・園児が新しい環境にも慣れて活発になることから、飛び出しを注意し、横断歩道ではいつでも停まれる速度での走行徹底」を繰り返し注意喚起し、交通事故防止の徹底を図っています。



「ひと」に優しい運転を心がけ、今日も1日安全運転

